

シラバス (美容師養成科)

対象者(学年)	必修課目・選択課目の別	単位数(時数)	担当教員名	浅越 由可里
美容科(1年)	必修課目	3単位(90)	授業方法 (講義,演習,実験, 実習の別)	講義
課目名	衛生管理	単年・継続の別 ⋮ 継続		
授業到達目標 及びテーマ	公衆衛生が美容業にどのように結びついているか。特に感染症の予防対策としての衛生処置や消毒の意義などについて学習する。			
年間授業計画	月	ページ	授業の内容・概要(授業の回数やスケジュール)	
	4	P8～19	公衆衛生の概要	
	5	P21～40	保健(母子保健、成人、高齢者保健、精神保健)	
	6	P44～54	保健まとめ・環境衛生(概要、空気環境)	
	7	P59～73	環境衛生(衣服、住居の衛生、上・下水道と廃棄物)	
	8	P75～79	環境衛生(衛生害虫とネズミ、環境保全)	
	9	P82～97	環境衛生まとめ・感染症総論(人と感染症・病原微生物)	
	10	P100～111	感染症の総論(感染症の予防)	
	11	P115～135	感染症の各論(主な感染症)	
	12			
	1	P138～142	感染症の各論(具体的な対策の例)	
	2		感染症まとめ	
	3			
テキスト	衛生管理			
参考書等	ワークブック、過去問題、美容師国家試験対策問題集			
成績評価の方法・基準	<ul style="list-style-type: none"> ・授業態度(遅刻、欠席、授業妨害、眠る、スマホ使用)は減算評価とする。 ・前期、後期(昼間・期末)考査を各素点100点満点で評価する。 学年末には、優、良、可及び不可で評価する。 ・60点未満の場合、再テスト及び補習とする。 			
実務経験等	<ul style="list-style-type: none"> ・美容師養成施設指定規則別表第三の衛生管理保健の七に該当 ・免許状保有状況 看護師免許保有 ・実務経験 病院約8年 福祉系約20年以上勤務する。 			

シラバス (美容師養成科)

対象者(学年)	必修課目・選択課目の別	単位数(時数)	担当教員名	小松 亜希子
美容科(1年)	必修課目	3単位(90)	授業方法 (講義,演習,実験, 実習の別)	講義
課目名	保健		単年・継続の別	継続
授業到達目標 及びテーマ	美容師における人体の構造(解剖学)及び、機能(生理学)、皮膚科学について理解し、正しい知識を習得する			
年間授業計画	月	ページ	授業の内容・概要(授業の回数やスケジュール)	
	4	P10～	第1章 頭部・顔部・頸部の体表解剖学	
	5	～P25	第2章 骨格器系	
	6	P26～	第2章 骨格器系、前期中間試験解説、第3章 筋系	
	7	P32～	第4章 神経系	
	8			
	9	～P37	前期期末試験解説、第4章 神経系	
	10	P38～	第5章 感覚器系	
	11	P44～	第5章 感覚器系、後期中間試験解説、第6章 血液と免疫系	
	12			
	1	P50～	第6章 血液と免疫、第7章 循環器系	
	2	P56～	第7章 循環器系、第8章 呼吸器系	
	3			
	テキスト	保健		
参考書等	ワークブック、国家試験過去問			
成績評価の 方法・基準	前期・後期中間期末試験の素点90点、出欠席・授業態度、小テスト10点として評価とする			
実務経験等	<ul style="list-style-type: none"> ・美容師養成施設指定規則別表第三の衛生管理保健の七に該当 ・免許状保有状況 JAA認定アロマコーディネーター、JAA認定アロマイストラクター、JAA加盟校資格 JMAメイクアップ検定1級取得、看護師国家資格 ・実務経験 病院約25年、アロマ講師15年、当校アロマ講師担当4年 			

シラバス (美容師養成科)

対象者(学年)	必修課目・選択課目の別	単位数(時数)	担当教員名	横田直子
美容科(1年)	必修課目	2単位(60)	授業方法 (講義,演習,実験, 実習の別)	講義
課目名	香粧品化学		単年・継続の別	継続
授業到達目標 及びテーマ	香粧品の知識・管理について学習する。 香粧品を正しく理解し、安全に使用するための化学の基本原理や知識を学習する。			
年間 授業 計画	月	ページ	授業の内容・概要(授業の回数やスケジュール)	
	4	p.9 ~ 42	香粧品総論 香粧品を使用する際に気をつけるべきこと	
	5	p.43 ~ 50	香粧品の成り立ち, 水と親水性溶媒	
	6	p.51 ~ 55	油性原料(油脂, ロウ, 炭化水素) 前期中間試験対策授業	
	7	p.56 ~ 69	その他の油性原料, 界面活性剤, 高分子化合物	
	8	p.70 ~ 80	色材, 香料	
	9		前期期末試験対策授業	
	10	p.81 ~ 95	製品を安定させる配合原料, その他の機能性配合原料, 雑貨原料	
	11		後期中間試験対策授業	
	12			
	1	p.97 ~ 115	スキンケア製品(香粧品の効果と使用プロセス, クレンジング用香粧品, コンディショニング用香粧品)	
	2	p.116 ~ 146	スキンケア製品(トリートメント用香粧品), メイクアップ製品 後期期末試験対策授業	
	3			
	テキスト	香粧品化学		
参考書等	ワークブック			
成績評価の 方法・基準	前期・後期中間考査・前期期末考査を各素点90点満点で評価し、10点をプリント等の提出点及び授業態度で評価する。 学年末には、優・良・可及び不可で評価する。 考査後に成績不振者対処の追試を行う。			
実務経験等	・美容師養成施設指定規則別表第三の香粧品化学の五に該当 ・免許状保有状況 中学校, 高等学校の第一種理科免許状保有 ・略歴 岡山県公立高校 常勤講師, 非常勤講師 大学 技術補佐員 H23~ 倉敷ビューティーカレッジ 非常勤講師			

シラバス (美容師養成科)

対象者(学年)	必修課目・選択課目の別	単位数(時数)	担当教員名	都路知世
美容科(1年)	必修課目	2単位(60)	授業方法 (講義,演習,実験, 実習の別)	講義
課目名	文化論		単年・継続の別	継続
授業到達目標 及びテーマ	美容・理容とは何か、文化の背景や歴史、また社会へ与える影響について分析し、美容の役割を学ぶ。 美容の概念と、価値観の異なる文化間の比較を通じ、その多様性を認識する。 現代までの美容文化の特徴を把握し、美容業の発展を考察する。			
年間授業計画	月	ページ	授業の内容・概要(授業の回数やスケジュール)	
	4	4～19p	総論 ・ 理容業・美容業の発生(江戸時代～近代)	
	5	～43p	現代の理容業・美容業 縄文・弥生・古墳時代 古代(飛鳥・奈良・平安時代)	
	6	～63p	中世(平安末・鎌倉・室町・戦国時代) 近世Ⅰ(戦国末・安土桃山時代)	
	7	～73p	近世Ⅱ(江戸時代)	
	8	～80p	近世Ⅱ(江戸時代 続き)	
	9	～88p	近代(明治・大正・昭和20年まで)	
	10	～97p	現代Ⅰ(1945～1950年代) 現代Ⅱ(1960年代～1970年代)	
	11	～102p	現代Ⅱ(1960年代～1970年代 続き)	
	12	～111p	現代Ⅲ(1980年代～1990年代)	
	1	～117p	現代Ⅳ(2000年代以降)	
	2	180p～188p	礼装の種類(和装・洋装礼装)	
	3			
テキスト	教科書美容文化論			
参考書等	ワークブック			
成績評価の 方法・基準	前期・後期中間考査、期末考査を各素点100点で評価し、授業態度で減点する。 遅刻、欠席は減算評価とし、成績不振者には補習を行う。 学年末には、優・良・可及び不可で評価する。			
実務経験等	・美容師養成施設指定規則別表第三の文化論の三に該当 ・免許状保有状況 中学校美術免許(2種) ・実務経験 グラフィックデザイナー、編集制作デザイナー、カラーセラピスト、ギャラリー&アトリエ主宰			

シラバス (美容師養成科)

対象者(学年)	必修課目・選択課目の別	単位数(時数)	担当教員名	頼正 加奈子
美容科(1年)	必修課目	5単位(150)	授業方法 (講義,演習,実験, 実習の別)	講義
課目名	美容技術理論(前期)		単年・継続の別	継続
授業到達目標 及びテーマ	美容技術を理論的に理解させ、適切な技術を行うために必要な基礎的知識の習得及び、国家試験合格への知識習得			
年間授業計画	月	ページ	授業の内容・概要(授業の回数やスケジュール)	
	4	4～10	序章・美容技術理論を学ぶにあたって	
	5	14～33	第1章美容用具	
	6	34～63	2章シャンプーイング	
	7	64～85	3章ヘアデザイン	
	8	64～85	3章ヘアデザイン	
	9	86～117	4章ヘアカッティング	
	10			
	11			
	12			
	1			
	2			
	3			
	テキスト	美容技術理論1		
参考書等	ワークブック、美容師国家試験問題集			
成績評価の 方法・基準	前期定期試験を行い、正答率6割以上で合格			
実務経験等	<ul style="list-style-type: none"> ・美容師養成施設指定規則別表第三の美容技術理論 美容実習に該当 ・免許状保有状況:美容師免許保有、管理美容師免許保有、JBCA認定教員保有、准教員認定保有 「美容技術理論」「美容実習」研修修了書保有、「衛生管理」研修修了書保有 ・美容師実務経験(H7・4～H9・1 STAR HAIR勤務 H9・2～H16・3 JOYCE勤務) ・H16・9～R6・5 専門学校倉敷ビューティーカレッジ勤務 			

シラバス (美容師養成科)

対象者(学年)	必修課目・選択課目の別	単位数(時数)	担当教員名	遠部 光一
美容科(1年)	必修課目	5単位(150)	授業方法 (講義,演習,実験, 実習の別)	講義
課目名	美容技術理論(後期)	単年・継続の別 : 継続		
授業到達目標 及びテーマ	美容技術を理論的に理解させ、適切な技術を行うために必要な基礎的知識の習得及び、国家試験合格への知識習得			
年間授業計画	月	ページ	授業の内容・概要(授業の回数やスケジュール)	
	4			
	5			
	6			
	7			
	8			
	9			
	10	126～155	5章パーマネントウエーブ	
	11	126～155	5章パーマネントウエーブ / 後期中間試験	
	12	220～243	7章ヘアカラーリング	
	1	220～243	7章ヘアカラーリング	
	2		美容技術理論 I 復習 / 後期期末試験	
	3			
テキスト	美容技術理論 I			
参考書等	ワークブック、美容師国家試験問題集			
成績評価の 方法・基準	後期定期試験を行い、正答率6割以上で合格			
実務経験等	<ul style="list-style-type: none"> ・美容師養成施設指定規則別表第三の美容技術理論 美容実習に該当 ・免許状保有状況:美容師免許保有 ・美容師実務経験12年 教員実務経験10年 			

シラバス (美容師養成科)

対象者(学年)	必修課目・選択課目の別	単位数(時数)	担当教員名	正司 一雄
美容科(1年1組)	必修課目	30単位(900)	授業方法 (講義,演習,実験, 実習の別)	実習
課目名	美容実習		単年・継続の別	継続
授業到達目標 及びテーマ	ワインディング・カット・オールウエーブセッティングなど国家試験合格に向け、分かりやすい説明をする。			
年間 授業 計画	月	ページ	授業の内容・概要(授業の回数やスケジュール)	
	4		WIN(用具扱い方・ブロッキング・上巻き・下巻き・センター説明) カット(用具扱い方・ワンレングス) / まつ毛エクステンション学科	
	5		WIN(センター・バックサイド・サイド説明、ブロッキング6分・全頭45分タイム計る) カット(ワンレングス50分・ストレートブロー) / まつ毛エクステンション実習	
	6		WIN前期中間試験(ブロッキング6分・全頭43分) カット前期中間試験(ワンレングスカット～ブロー50分) / まつ毛エクステンション実習	
	7		ワインディングコンテスト(ブロッキング5分・全頭40分) カット(グラデーション説明) / まつ毛エクステンション(テーピング～装着～リムービング50分)	
	8		WIN(ブロッキング込み全頭40分) カット(グラデーション～リバースブロー)	
	9		WIN前期期末試験(ブロッキング込み全頭30分) カット前期期末試験(グラデーションカット～リバースブロー)	
	10		WIN(ブロッキング込み全頭30分)・カット(セიმレングスカット説明) オールウエーブ(ウエーブ説明)	
	11		WIN後期中間試験(ブロッキング込み25分)・カット後期中間試験(セიმレングスカット) オールウエーブセッティング(ウエーブ)	
	12		WIN(全頭20分)・カット(セიმレングス) オールウエーブセッティング(ウエーブ)	
	1		WIN(全頭20分)・カット(セიმレングス) オールウエーブセッティング(ウエーブ)	
	2		WIN後期期末試験(全頭20分)・カット(セიმレングス) オールウエーブセッティング(オールウエーブ7段)	
	3		WIN(全頭20分) オールウエーブセッティング(カール説明)	
テキスト	美容実習Ⅰ、美容実習Ⅱ、まつ毛エクステンション			
参考書等				
成績評価の 方法・基準	定期試験を行い、100点満点で評価し、60点未満を不合格とし採点、不合格者は追試験を2回まで行う。			
実務経験等	<ul style="list-style-type: none"> ・美容師養成施設指定規則別表第三の美容技術理論・美容実習に該当 ・免許状保有状況 美容師免許 ・実務経験 美容師実務経験あり 教職員実務経験あり 			

シラバス (美容師養成科)

対象者(学年)	必修課目・選択課目の別	単位数(時数)	担当教員名	遠部 光一
美容科(1年2組)	必修課目	30単位(900)	授業方法 (講義,演習,実験, 実習の別)	実習
課目名	美容実習		単年・継続の別	継続
授業到達目標 及びテーマ	ワインディング・カット・オールウエーブセッティングなど国家試験合格に向け、分かりやすい説明をする。			
年間 授業 計画	月	ページ	授業の内容・概要(授業の回数やスケジュール)	
	4		WIN(用具扱い方・ブロッキング・上巻き・下巻き・センター説明) カット(用具扱い方・ワンレングス) / まつ毛エクステンション学科	
	5		WIN(センター・バックサイド・サイド説明、ブロッキング6分・全頭45分タイム計る) カット(ワンレングス50分・ストレートブロー) / まつ毛エクステンション実習	
	6		WIN前期中間試験(ブロッキング6分・全頭43分) カット前期中間試験(ワンレングスカット～ブロー50分) / まつ毛エクステンション実習	
	7		ワインディングコンテスト(ブロッキング5分・全頭40分) カット(グラデーション説明) / まつ毛エクステンション(テーピング～装着～リムービング50分)	
	8		WIN(ブロッキング込み全頭40分) カット(グラデーション～リバースブロー)	
	9		WIN前期末試験(ブロッキング込み全頭30分) カット前期末試験(グラデーションカット～リバースブロー)	
	10		WIN(ブロッキング込み全頭30分)・カット(セიმレングスカット説明) オールウエーブ(ウエーブ説明)	
	11		WIN後期中間試験(ブロッキング込み25分)・カット後期中間試験(セიმレングスカット) オールウエーブセッティング(ウエーブ)	
	12		WIN(全頭20分)・カット(セიმレングス) オールウエーブセッティング(ウエーブ)	
	1		WIN(全頭20分)・カット(セिमレングス) オールウエーブセッティング(ウエーブ)	
	2		WIN後期末試験(全頭20分)・カット(セिमレングス) オールウエーブセッティング(オールウエーブ7段)	
	3		WIN(全頭20分) オールウエーブセッティング(カール説明)	
テキスト	美容実習Ⅰ、美容実習Ⅱ、まつ毛エクステンション			
参考書等				
成績評価の 方法・基準	定期試験を行い、100点満点で評価し、60点未満を不合格とし採点、不合格者は追試験を2回まで行う。			
実務経験等	<ul style="list-style-type: none"> ・美容師養成施設指定規則別表第三の美容技術理論・美容実習に該当 ・免許状保有状況 美容師免許保有 ・実務経験 美容師実務経験12年 教職員実務経験10年 			

シラバス（美容師養成科）

対象者(学年)	必修課目・選択課目の別	単位数(時数)	担当教員名	犬飼 繁
美容科(2年)	必修科目	1単位(30)	授業方法 (講義,演習,実験, 実習の別)	講義
課目名	関係法規・制度		単年・継続の別	単年
授業到達目標 及びテーマ	美容師の業務に関する諸法規・制度についての正しい知識を学習する。 さらに美容所の開設等の規則や違反者に対する行政処分や罰則、そして関連法規についても学習する。			
年間 授業 計画	月	ページ	授業の内容・概要(授業の回数やスケジュール)	
	4			
	5	P8～48	法制度、衛生行政に関してその概要を学習する。保健所の役割と機構、美容師法の目的と用語の定義を学習する。	
	6	P49～74	美容師に関する規定の概説、美容師試験、免許と登録について学習する。	
	7			
	8	P74～85	美容師の義務について学習する。	
	9	P85～103	美容師の業務停止・免許取り消しおよび再免許、美容所の開設について学習する。	
	10	P103～114	開設者が講ずべき衛生措置、美容所以外での業務、立入検査と環境衛生監視員について学習する。	
	11	P115～126	違反者等に対する行政処分、罰則について学習する。	
	12	P128～140	関連法規について学習する。	
	1		国家試験対策として、過去問を学習する。	
	2		国家試験対策として、過去問を学習する。	
	3		国家試験対策として、過去問を学習する。	
	テキスト	関連法規・制度(美容)		
参考書等	ワークブック、美容師法関係法令集			
成績評価の 方法・基準	前期・後期中間考査、前期・後期期末考査を各素点90点満点で評価し、10点を学習プリントの提出点及び授業態度で評価する。学年末には、優・良・可・不可で評価する。なお、遅刻・早退・欠席は減算評価とする。 また、夏休み・冬休み・春休みには成績不振者に対する補習をする。			
実務経験等	・美容師養成施設指定規則別表第三の関係法規・制度の三に該当 ・免許状保有状況 中学校教諭一級普通免許状 社会, 高等学校教諭二級普通免許状 社会 ・実務経験 講師歴9ヵ月, 教諭歴35年, 非常勤講師歴9年			

シラバス (美容師養成科)

対象者(学年)	必修課目・選択課目の別	単位数(時数)	担当教員名	遠部 光一
美容科(2年)	必修課目	3単位(90)	授業方法 (講義,演習,実験, 実習の別)	講義
課目名	衛生管理		単年・継続の別	継続
授業到達目標 及びテーマ	衛生管理を理論的に理解させ、適切な消毒方法や感染症予防対策を行うために必要な基礎的知識の習得及び国家試験合格への知識習得			
年間授業計画	月	ページ	授業の内容・概要(授業の回数やスケジュール)	
	4	P103~126	感染症の各論(小テスト)	
	5	P129~153	衛生管理技術(消毒法総論)	
	6	P154~180	衛生管理技術(化学的消毒法、実施上の注意点、消毒法実習)試験対策	
	7	P181~193	衛生管理技術(消毒の実際)	
	8	P194~214	衛生管理技術(清潔法の実際)衛生管理の実践例	
	9	P201~234	衛生管理の実践例・試験対策	
	10		公衆衛生まとめ・環境衛生まとめ(小テスト)	
	11		感染症まとめ・衛生管理技術まとめ・試験対策(小テスト)	
	12		国家試験対策(過去問・問題集)	
	1		国家試験対策(過去問・問題集)	
	2		国家試験対策(過去問・問題集)	
	3		国家試験対策(過去問・問題集)	
	テキスト	衛生管理、美容師国家試験課題「技術の解説」		
参考書等	美容師国家試験問題集			
成績評価の 方法・基準	前期・後期定期試験を行い、正答率6割以上で合格、6割未満の場合に追認試験を行う。 学年末評価が「不可」の場合、不認定とする。			
実務経験等	<ul style="list-style-type: none"> ・美容師養成施設指定規則別表第三の衛生管理保健の八に該当 ・免許状保有状況 美容師免許保有 ・実務経験 美容師実務経験12年 教職員実務経験10年 			

シラバス (美容師養成科)

対象者(学年)	必修課目・選択課目の別	単位数(時数)	担当教員名	周藤由美
美容科(2年)	必修課目	3単位(90)	授業方法 (講義,演習,実験, 実習の別)	講義
課目名	保健		単年・継続の別	継続
授業到達目標 及びテーマ	美容技術のエビデンスとなる人体の構造及び機能と皮膚及びその付属器官の基本的知識を習得する。			
年間授業計画	月	ページ	授業の内容・概要(授業の回数やスケジュール)	
	4	48～	第6章 血液と免疫系 第7章 循環器系	
	5	56～	第8章 呼吸器系 第9章 消化器系 第2編 第1章 皮膚の構造	
	6		前期中間試験対策・解説	
	7	80～	第2章 皮膚付属器官の構造 第3章 皮膚の循環器系と神経系	
	8	94～	第4章 皮膚と皮膚付属器官の生理機能	
	9		前期期末試験対策・解説	
	10	106～	第5章 皮膚と皮膚付属器官の保健 第6章 皮膚と皮膚付属器官の疾患	
	11		後期中間試験対策・解説	
	12		国家試験対策	
	1		国家試験対策	
	2		後期期末試験対策・解説 国家試験対策	
	3			
テキスト	保健			
参考書等	ワークブック、国家試験過去問題			
成績評価の方法・基準	前期・後期の中間・期末考査を各素点95点満点、プリント提出・講義態度を5点満点として評価する。 プリント未提出・講義妨害は減点対象とする。 学年末には、優・良・可及び不可で評価する。 成績不振者には補習をする。			
実務経験等	<ul style="list-style-type: none"> ・美容師養成施設指定規則別表第三の衛生管理 保健の七に該当 ・免許状保有状況:看護師免許保有 ・実務経験:看護師実務経験(10年)看護教員実務経験(4年) 			

シラバス (美容師養成科)

対象者(学年)	必修課目・選択課目の別	単位数(時数)	担当教員名	横田直子
美容科(2年)	必修課目	2単位(60)	授業方法 (講義,演習,実験, 実習の別)	講義
課目名	香粧品化学		単年・継続の別	継続
授業到達目標 及びテーマ	香粧品の知識・管理について学習する。 香粧品を正しく理解し、安全に使用するための化学の基本原理や知識を学習する。			
年間授業計画	月	ページ	授業の内容・概要(授業の回数やスケジュール)	
	4	p.9~58	香粧品総論, 香粧品原料(水性原料, 油性原料)復習	
	5	p.59~80	香粧品原料(界面活性剤, 高分子化合物, 色材)復習	
	6	p.81~95	香粧品原料(配合成分, 雑貨原料)復習	前期中間試験対策授業
	7	p.97~146	スキンケア製品, メイクアップ製品復習	
	8			
	9		前期期末試験対策授業	
	10	p.147~186	ヘアケア, ヘアメイクアップ及びスキンケア製品復習	
	11	p.123~164	後期中間試験対策授業	
	12		国家試験対策授業	
	1		国家試験対策授業	
	2		国家試験対策授業	
	3			
テキスト	香粧品化学			
参考書等	ワークブック			
成績評価の 方法・基準	前期・後期中間考査・前期期末考査を各素点90点満点で評価し、10点をプリント等の提出点及び授業態度で評価する。 学年末には、優・良・可及び不可で評価する。 考査後に成績不振者対処の追試を行う。			
実務経験等	<ul style="list-style-type: none"> ・美容師養成施設指定規則別表第三の香粧品化学の五に該当 ・免許状保有状況 中学校, 高等学校の第一種理科免許状保有 ・略歴 岡山県公立高校 常勤講師, 非常勤講師 大学 技術補佐員 H23~ 倉敷ビューティーカレッジ 非常勤講師 			

シラバス (美容師養成科)

対象者(学年)	必修課目・選択課目の別	単位数(時数)	担当教員名	高橋 昌人
美容科(2年)	必修課目	2単位(60)	授業方法 (講義,演習,実験, 実習の別)	講義
課目名	文化論		単年・継続の別	⋮ 継続
授業到達目標 及びテーマ	美容師の仕事は、人間美の想像、実現にあることをよく認識し、その使命達成の為に必要な美的感覚を身につけ、表現力を養う。 また美容師の成り立ちや時代背景とのつながり、美容・理容の歴史について学習する。 美容・理容とは何か、美のあり方や国内外における美容文化を理解する。			
年間授業計画	月	ページ	授業の内容・概要(授業の回数やスケジュール)	
	4	108～113p	①古代エジプト 古代ギリシャ・ローマ	
	5	113～123p 124～127p	②古代ゲルマン 中世ヨーロッパ ③近世Ⅰ(16世紀) 近世Ⅱ(17世紀)	
	6	128～133p	④近世Ⅲ(18世紀) 近代Ⅰ(18世紀末～19世紀始め)	
	7	134～138p	⑤近代Ⅱ(19世紀)	
	8	139～144p	⑥現代Ⅰ(1910～1920年代) 現代Ⅱ(1930年代)	
	9	145～148p	⑦現代Ⅲ(1940～1950年代)	
	10	149～152p 153～157p	⑧現代Ⅳ(1960年代) ⑨現代Ⅴ(1970年代)	
	11	158～160p	⑩現代Ⅵ(1980年代)	
	12	164～170p	⑪和装・洋装 礼装 復習	
	1	161～162p	⑫現代Ⅶ(1990～2010年)	
	2		⑬試験対策 復習	
	3		⑭試験対策 復習	
テキスト	教科書美容文化論(21期)			
参考書等	ワークブック			
成績評価の方法・基準	前期・後期中間考査、期末考査を各素点100点で評価し、授業態度で減点する。 遅刻、欠席は減算評価とし、成績不振者には補習を行う。 学年末には優・良・可及び不可で評価する。			
実務経験等	・美容師養成施設指定規則別表第三の文化論の二に該当 ・免許状保有状況 ・実務経験 ・倉敷ビューティーカレッジ非常勤講師歴23年 ・絵画教室代表24年			

シラバス (美容師養成科)

対象者(学年)	必修課目・選択課目の別	単位数(時数)	担当教員名	神崎 千恵子
美容科(2年)	必修課目	5単位(150)	授業方法 (講義,演習,実験, 実習の別)	講義
課目名	美容技術理論(前期)		単年・継続の別	継続
授業到達目標 及びテーマ	美容技術を理論的に理解させ、適切な技術を行うために必要な基礎的知識の習得及び、国家試験合格への知識習得			
年間授業計画	月	ページ	授業の内容・概要(授業の回数やスケジュール)	
	4	P235～243	第6章ヘアカラーリング 序章・第1章・第2章・第3章復習問題	
	5		第4章・第5章・第6章復習問題	
	6	P6～22	第7章復習問題 前期中間試験(美容技術理論①総合問題) 第8章エステテック	
	7	P23～36	第8章エステテック	
	8			
	9	P38～46	第9章ネイル技術	
	10	P47～73	第9章ネイル技術 前期期末試験(第8章・第9章)	
	11			
	12			
	1			
	2			
	3			
テキスト	美容技術理論1・2			
参考書等	過去問題			
成績評価の方法・基準	前期期末試験・後期期末考査100点満点で作成し、課題提出・授業態度(忘れ物・遅刻欠席)加味し評価する。 学年末には、優・良・可及び不可で評価する。			
実務経験等	<ul style="list-style-type: none"> ・美容師養成施設指定規則別表第三の美容技術理論 美容実習に該当 ・JBCA認定教員保有、准教員認定保有、美容師免許保有、「美容技術理論」「美容実習」研修修了証書保有 「美容文化論」研修修了証書保有 美容師実務経験(H6・4～H16・3月) H16・3～R6・5現在 専門学校倉敷ビューティーカレッジ勤務 			

シラバス (美容師養成科)

対象者(学年)	必修課目・選択課目の別	単位数(時数)	担当教員名	正司 一雄
美容科(2年)	必修課目	5単位(150)	授業方法 (講義,演習,実験, 実習の別)	講義
課目名	美容技術理論(後期)		単年・継続の別	継続
授業到達目標 及びテーマ	美容技術を理論的に理解させ、適切な技術を行うために必要な基礎的知識の習得及び、国家試験合格への知識習得			
年間授業計画	月	ページ	授業の内容・概要(授業の回数やスケジュール)	
	4			
	5			
	6			
	7			
	8			
	9			
	10	P74~P111	第10章メイクアップ	
	11	P113~133	第9章ネイル技術 第10章メイクアップ(後期中間試験) 第11章 日本髪	
	12	P135~178	第12章着付けの理論と技術	
	1	P135~178	第11章 日本髪 第12章着付けの理論と技術(後期期末試験)	
	2		過去問題	
	3		過去問題	
テキスト	美容技術理論1・2			
参考書等	過去問題			
成績評価の方法・基準	前期期末試験・後期期末考査100点満点で作成し、課題提出・授業態度(忘れ物・遅刻欠席)加味し評価する。 学年末には、優・良・可及び不可で評価する。			
実務経験等	<ul style="list-style-type: none"> ・美容師養成施設指定規則別表第三の美容技術理論 美容実習に該当 ・免許状保有状況 美容師免許 ・実務経験 美容師実務経験あり 教職員実務経験あり 			

シラバス (美容師養成科)

対象者(学年)	必修課目・選択課目の別	単位数(時数)	担当教員名	正司 一雄
美容科(2年)	必修課目	1単位(30)	授業方法 (講義,演習,実験, 実習の別)	講義
課目名	運営管理		単年・継続の別	単年
授業到達目標 及びテーマ	経営者・経営とは何か、税金や申告、社会保険制度などの将来に向けての知識と理解を考え理解する。国家試験への対策もしっかり取り入れる。			
年間授業計画	月	ページ	授業概要	
	4	P2～23	まえがき・第1編 経営者の視点 1章経営とは・経営者とは	
	5	P24～35	第1編 経営者の視点 2章 理容業・美容業の経営について	
	6	P36～47	第1編 経営者の視点 3章 資金の管理 中間テスト	
	7	P50～	第2編 人という資源 従業員としての視点 第1章 人という資源	
	9	～93	第2章 健康・安全な職場環境の実現 第3章 従業員としての視点から 期末テスト	
	10	P96～	第3編 顧客のために 第1章 サービス・デザイン	
	11	～143	第2章 マーケティング 第3章 サービスにおける人の役割 中間テスト	
	12	P2～143	第1編～3編 全体復習	
	1	P2～143	第1編～3編 全体復習 期末テスト	
	2	資料	演習問題を使った復習/後期期末試験(全範囲)	
	3	資料	美容師学科国家試験	
	テキスト	運営管理教科書		
参考書等	運営管理、美容師国家試験問題集、ワークブック			
成績評価の 方法・基準	各、中間・期末考査を100点満点で評価し、授業提出物などの減点を含め、平均点をだし評価する。 60点以上で合格とする。 また、夏休み・冬休みには、成績不審者に対して再追試を行う。			
実務経験等	・美容師養成施設指定規則別表第三の運営管理の四(二)に該当 ・免許状保有状況 美容師免許 ・実務経験 美容師実務経験あり 教職員実務経験あり			

シラバス (美容師養成科)

対象者(学年)	必修課目・選択課目の別	単位数(時数)	担当教員名	長崎 恵子
美容科(2年1組)	必修課目	30単位(900)	授業方法 (講義,演習,実験, 実習の別)	実習
課目名	美容実習		単年・継続の別	継続
授業到達目標 及びテーマ	美容技術を行う場合に必要な基本動作はもちろんのこと、美容器具の操作方法や消毒、手入れ方法などを実践する。 また、特殊技術を適切に組み合わせて、調和のとれた美容技術を完成させる為、総合的な技術を身に付ける			
年間授業計画	月	ページ	授業の内容・概要(授業の回数やスケジュール)	
	4		(WIN)20分 (CUT)国家試験課題説明 (PIN)5段目まで説明	
	5		(WIN)20分 (CUT)国家試験課題説明 (PIN)5段目まで50分で試験	
	6		(WIN)20分 コンテスト練習	
	7		(WIN)20分試験 (CUT)50分試験	
	8		(WIN)20分 (CUT)40分 (PIN)7段目まで説明	
	9		(WIN)20分試験 (PIN)50分試験	
	10		(WIN)20分 (CUT)25分 (PIN)35分	
	11		国家試験対策	
	12		国家試験対策	
	1		国家試験対策	
	2			
	3			
テキスト				
参考書等				
成績評価の方法・基準	前期中間・期末、後期中間・期末で試験を行う。課題提出・授業態度等を加味し評価する。 学年末には、優・良・可及び不可で評価する。			
実務経験等	<ul style="list-style-type: none"> ・美容師養成施設指定規則別表第三の美容技術理論・美容実習 に該当 ・免許状保有状況 美容師免許 教員資格取得研修了証書有 ・実務経験 美容室実務経験4年 美容専門学校実務経験 18年 			

シラバス (美容師養成科)

対象者(学年)	必修課目・選択課目の別	単位数(時数)	担当教員名	佐伯 恵里子
美容科(2年2組)	必修課目	30単位(900)	授業方法 (講義,演習,実験, 実習の別)	実習
課目名	美容実習	単年・継続の別	⋮	継続
授業到達目標 及びテーマ	美容技術を行う場合に必要な基本動作はもちろんのこと、美容器具の操作方法や消毒、手入れ方法などを実践する。 また、特殊技術を適切に組み合わせて、調和のとれた美容技術を完成させる為、総合的な技術を身に付ける			
年間 授業 計画	月	ページ	授業の内容・概要(授業の回数やスケジュール)	
	4		(WIN)20分 (CUT)国家試験課題説明 (PIN)5段目まで説明	
	5		(WIN)20分 (CUT)国家試験課題説明 (PIN)5段目まで50分で試験	
	6		(WIN)20分 コンテスト練習	
	7		(WIN)20分試験 (CUT)50分試験	
	8		(WIN)20分 (CUT)40分 (PIN)7段目まで説明	
	9		(WIN)20分試験 (PIN)50分試験	
	10		(WIN)20分 (CUT)25分 (PIN)35分	
	11		国家試験対策	
	12		国家試験対策	
	1		国家試験対策	
	2			
	3			
テキスト				
参考書等				
成績評価の 方法・基準	前期中間・期末、後期中間・期末で試験を行う。課題提出・授業態度等を加味し評価する。 学年末には、優・良・可及び不可で評価する。			
実務経験等	<ul style="list-style-type: none"> ・美容師養成施設指定規則別表第三の選択課目 に該当 ・免許状保有状況 美容師免許 管理美容師免許 JMA学内認定講師 日本メイクアップ技術検定2級 保有 ・実務経験 美容師実務経験(10年) 			

シラバス(美容師養成科)

対象者(学年)	必修課目・選択課目の別	単位数(時数)	担当教員名	長崎 恵子
美容科(1年1組)	選択課目	2単位(60)	授業方法 (講義,演習,実験, 実習の別)	実習
課目名	メイク		単年・継続の別	継続
授業到達目標 及びテーマ	メイクアップの基礎知識・技術を習得し、JMA日本メイクアップ技術検定3級取得を目指す。			
年間 授業 計画	月	ページ	授業の内容・概要(授業の回数やスケジュール)	
	4			
	5			
	6			
	7			
	8			
	9			
	10		3級検定について・モデルセッティング・テーブルセッティング	
	11		クレンジング・スキンケア・コントロールカラー・ファンデーション・コンシーラー	
	12		パウダー・チーク・ローライト・ハイライト	
	1		通し練習	
	2		3級検定模擬試験	
	3		3級検定対策・3級検定	
	テキスト	日本メイクアップ技術検定試験 公式テキスト3級		
参考書等				
成績評価の 方法・基準	検定試験結果で評価をする。			
実務経験等	<ul style="list-style-type: none"> ・美容師養成施設指定規則別表第三の選択課目に該当 ・免許状保有状況 美容師免許 教員資格取得研修修了証書有 ・実務経験 美容室実務経験4年 美容専門学校実務経験 18年 			

シラバス (美容師養成科)

対象者(学年)	必修課目・選択課目の別	単位数(時数)	担当教員名	佐伯 恵里子
美容科(1年2組)	選択課目	2単位(60)	授業方法 (講義,演習,実験, 実習の別)	実習
課目名	メイク		単年・継続の別	継続
授業到達目標 及びテーマ	メイクアップの基礎知識・技術を習得し、JMA日本メイクアップ技術検定3級資格取得を目指す。			
年間授業計画	月	ページ	授業の内容・概要(授業の回数やスケジュール)	
	4			
	5			
	6			
	7			
	8			
	9			
	10		メイク基礎知識	
	11		スキンケア	
	12		スキンケア	
	1		ベースメイク	
	2		通し	
	3		検定対策	
テキスト				
参考書等				
成績評価の 方法・基準	授業態度・遅刻・欠席・提出物で後期中間試験との総合で評価する。 遅刻・欠席は減算評価とする。 学年末には優・良・可及び不可で評価する。 また、夏休み・冬休み・春休みには成績不振者対処の補習をする。			
実務経験等	・美容師養成施設指定規則別表第三の選択課目 に該当 ・免許状保有状況 美容師免許 管理美容師免許 JMA学内認定講師 日本メイクアップ技術検定2級 保有 ・実務経験 美容師実務経験(10年)			

シラバス (美容師養成科)

対象者(学年)	必修課目・選択課目の別	単位数(時数)	担当教員名	正司 一雄
美容科(1年1組)	必修課目	2単位(60)	授業方法 (講義,演習,実験, 実習の別)	実習
課目名	サロン概論		単年・継続の別	継続
授業到達目標 及びテーマ	校外の社会人講師の講義等を通じ、美容の技術や美容業務についての知識を深める。			
年間授業計画	月	ページ	授業概要	
	4		オリエンテーション / 就職フェア / 後援会講師特別講話	
	5		一恋 / 岡山未来プロジェクト / 後援会講師特別講話	
	6		SNS講習	
	7		後援会就職説明会 / 後援会特別講話	
	9			
	10		絵付け体験 / 後援会特別講話	
	11		後援会特別講話	
	12		後援会特別講話	
	1		後援会特別講話	
	2		就職説明会	
	3			
	テキスト			
参考書等				
成績評価の方法・基準				
実務経験等	<ul style="list-style-type: none"> ・美容師養成施設指定規則別表第三の選択課目に該当 ・免許状保有状況 美容師免許 ・実務経験 美容師実務経験あり 教職員実務経験あり 			

シラバス (美容師養成科)

対象者(学年)	必修課目・選択課目の別	単位数(時数)	担当教員名	遠部 光一
美容科(1年2組)	必修課目	2単位(60)	授業方法 (講義,演習,実験, 実習の別)	実習
課目名	サロン概論		単年・継続の別	継続
授業到達目標 及びテーマ	校外の社会人講師の講義等を通じ、美容の技術や美容業務についての知識を深める。			
年間授業計画	月	ページ	授業概要	
	4		オリエンテーション / 就職フェア / 後援会講師特別講話	
	5		一恋 / 岡山未来プロジェクト / 後援会講師特別講話	
	6		SNS講習	
	7		後援会就職説明会 / 後援会特別講話	
	9			
	10		絵付け体験 / 後援会特別講話	
	11		後援会特別講話	
	12		後援会特別講話	
	1		後援会特別講話	
	2		就職説明会	
	3			
	テキスト			
参考書等				
成績評価の方法・基準				
実務経験等	<ul style="list-style-type: none"> ・美容師養成施設指定規則別表第三の選択課目に該当 ・免許状保有状況 美容師免許保有 ・実務経験 美容師実務経験12年 教職員実務経験10年 			

シラバス (美容師養成科)

対象者(学年)	必修課目・選択課目の別	単位数(時数)	担当教員名	神崎 千恵子
美容科(1年)	選択課目	1単位(30)	授業方法 (講義,演習,実験, 実習の別)	講義
課目名	ビューティ・コーディネーター		単年・継続の別	継続
授業到達目標 及びテーマ	トータルビューティを総合的・体系的のカウンセリングし、お客様に合った提案を行える人材を育成する。 ビューティ・コーディネーター検定3級受験 全員合格を目指す。			
年間授業計画	月	ページ	授業の内容・概要(授業の回数やスケジュール)	
	4			
	5			
	6			
	7			
	8			
	9			
	10	76～82 12～30	ビューティ・コーディネーターとオペレーション・美容業におけるビジネスキャリア	
	11	32～48	ホスピタリティを發揮するビジネスコミュニケーション・サロン内のコミュニケーション	
	12	50～70	接客の基本と電話の受け方・かけ方・サロンのメディア活用・ビジネス用語	
	1	84～100	生産性を高めるフロアマネージメントワーク	
	2	102～114	「美意識」をコーディネート・ファッションを理解する	
	3	102～114	「美意識」をコーディネート・ファッションを理解する	
	テキスト	ビューティ・コーディネーター3級テキスト		
参考書等	過去問題			
成績評価の方法・基準	授業態度・遅刻・欠席・提出物で後期中間試験との総合で評価する。 学年末には優・良・可及び不可で評価する。			
実務経験等	<ul style="list-style-type: none"> ・美容師養成施設指定規則別表第三の選択課目に該当 ・JBCA認定教員保有、准教員認定保有、美容師免許保有、「美容技術理論」「美容実習」研修修了証書保有 「美容文化論」研修修了証書保有 美容師実務経験(H6・4～H14・1 株式会社ザ・トップ勤務 H14・2～H16・3月 株式会社 エリカ勤務) H16・3～R6・5 専門学校倉敷ビューティーカレッジ勤務 			

シラバス (美容師養成科)

対象者(学年)	必修課目・選択課目の別	単位数(時数)	担当教員名	正司 一雄
美容科(1年1組)	選択課目	2単位(60)	授業方法 (講義,演習,実験, 実習の別)	実習
課目名	制作実習	単年・継続の別		継続
授業到達目標 及びテーマ	制作発表会を目標に、協調性や美的センスを養い披露する。			
年間授業計画	月	ページ	授業概要	
	4			
	5			
	6			
	7			
	8			
	9			
	10			
	11			
	12			
	1			
	2			
	3		制作発表会準備	
	テキスト			
参考書等				
成績評価の方法・基準	制作発表会の得点・順位・遅刻・欠席・提出物で総合で評価する。			
実務経験等	<ul style="list-style-type: none"> ・美容師養成施設指定規則別表第三の選択課目に該当 ・免許状保有状況 美容師免許 ・実務経験 美容師実務経験あり 教職員実務経験あり 			

シラバス (美容師養成科)

対象者(学年)	必修課目・選択課目の別	単位数(時数)	担当教員名	遠部 光一
美容科(1年2組)	選択課目	2単位(60)	授業方法 (講義,演習,実験, 実習の別)	実習
課目名	制作実習		単年・継続の別	継続
授業到達目標 及びテーマ	制作発表会を目標に、協調性や美的センスを養い披露する。			
年間授業計画	月	ページ	授業概要	
	4			
	5			
	6			
	7			
	8			
	9			
	10			
	11			
	12			
	1			
	2			
	3		制作発表会準備	
	テキスト			
参考書等				
成績評価の 方法・基準	制作発表会の得点・順位・遅刻・欠席・提出物で総合で評価する。			
実務経験等	<ul style="list-style-type: none"> ・美容師養成施設指定規則別表第三の選択課目に該当 ・免許状保有状況 美容師免許保有 ・実務経験 美容師実務経験12年 教職員実務経験10年 			

シラバス (美容師養成科)

対象者(学年)	必修課目・選択課目の別	単位数(時数)	担当教員名	長崎 恵子
美容科(2年) ヘアスタイリストコース	選択課目	2単位(60)	授業方法 (講義,演習,実験, 実習の別)	実習
課目名	編込み		単年・継続の別	継続
授業到達目標 及びテーマ	基礎から応用までさまざまな編み方を習得する。初級・中級の検定を行う。			
年間授業計画	月	ページ	授業の内容・概要(授業の回数やスケジュール)	
	4		ブロッキング・三つ編み(表・裏)・フィッシュボーン・平四つ編み	
	5		方三つ編み込み(表・裏)・丸三つ編み・丸四つ編み・ロープ編み(右・左)・五つ編み	
	6		六つ編み・両側編み込み(表・裏)	
	7		復習	
	8		試験対策	
	9		ブレイディスト認定試験初級	
	10		三つ編みアレンジ(表・裏)・ロープ編みアレンジ・丸三つ編みアレンジ・平四つ編みアレンジ	
	11		かご編み・中級試験対策	
	12		ブライディスト認定試験中級	
	1		アップスタイルコンテスト練習	
	2		アップスタイルコンテスト準備・アップスタイルコンテスト	
	3			
テキスト				
参考書等				
成績評価の 方法・基準	ブレイディスト認定試験初級・中級を行い、100点満点で採点をする。			
実務経験等	<ul style="list-style-type: none"> ・美容師養成施設指定規則別表第三の選択課目に該当 ・免許状保有状況 美容師免許 教員資格取得研修修了証書有 ・実務経験 美容室実務経験4年 美容専門学校実務経験 18年 			

シラバス (美容師養成科)

対象者(学年)	必修課目・選択課目の別	単位数(時数)	担当教員名	高橋 昌人
美容科(1年) ヘアスタイリストコース	選択課目	1単位(30)	授業方法 (講義,演習,実験, 実習の別)	実習
課目名	美術		単年・継続の別	単年
授業到達目標 及びテーマ	美容師にとって中心的課題である人体頭部の解剖学的把握と優れたデザイン感覚を身につけるために、デッサン実習とヘアスタイル画を通して学習する。			
年間授業計画	月	ページ	授業の内容・概要(授業の回数やスケジュール)	
	4		鉛筆デッサン演習・タッチトーン作成	
	5		鉛筆デッサン演習・立方体のデッサン	
	6		鉛筆デッサン演習・目・鼻・口のデッサン	
	7		ヘアスタイル画演習	
	8		ヘアスタイル画演習	
	9		アクリルガッシュ演習・グラデーション作成	
	10		アクリルガッシュ演習・混色表現	
	11		美人画演習	
	12		美人画演習	
	1		ファッションスタイル画演習	
	2		ファッションスタイル画演習	
	3			
テキスト				
参考書等				
成績評価の方法・基準	前期・後期中間考査、前期期末考査を各素点80点満点と授業態度で評価する。 20点をノート点の提出物及び授業態度で評価する。 学年末には優・良・可及び不可で評価する。			
実務経験等	<ul style="list-style-type: none"> ・美容師養成施設指定規則別表三の選択課目に該当 ・免許状保有状況 ・実務経験 ・倉敷ビューティーカレッジ非常勤講師歴23年 ・絵画教室代表24年 			

シラバス (美容師養成科)

対象者(学年)	必修課目・選択課目の別	単位数(時数)	担当教員名	杉井 見羽
美容科(1年) ヘアスタイリストコース	選択課目	1単位(30)	授業方法 (講義,演習,実験, 実習の別)	講義
課目名	カラー診断		単年・継続の別	単年
授業到達目標 及びテーマ	色彩に関する基礎知識やCUS配色をまなび、パーソナルカラーの色分類や特徴を理解し、美容・メイク・ブライダル等の実践に役立つ知識・診断技術を習得する。			
年間授業計画	月	ページ	授業の内容・概要(授業の回数やスケジュール)	
	4	P1~25	パーソナルカラー概論、色彩と文化	
	5	P26~58	色彩理論	
	6	P26~95	色彩とファッション、パーソナルカラー	
	7		パーソナルカラー診断実習	
	8		パーソナルカラー診断実習	
	9		パーソナルカラー診断実習	
	10			
	11			
	12			
	1			
	2			
	3			
テキスト	パーソナルカラリスト検定 3級公式テキスト			
参考書等	CUSカラーカード157			
成績評価の方法・基準	前期・後期考査を各素点100点満点で評価し、小テスト、及び課題提出、授業態度で加点減点評価する。学年末には、優・良・可及び不可で評価する。 なお、遅刻・欠席は減算評価とする。			
実務経験等	<ul style="list-style-type: none"> ・美容師養成施設指定規則別表第三の選択課目に該当 ・免許状保有状況 色彩検定1級、英国オーラライト・カナダセンセーション カラーセラピー認定セラピスト ・実務経験 (有)アクティにてカラーリスト、インストラクターとして勤務後、個人サロン、アリン開業(経験23年) 			

シラバス (美容師養成科)

対象者(学年)	必修課目・選択課目の別	単位数(時数)	担当教員名	佐伯 恵里子
美容科(1年) ヘアスタイリストコース	選択課目	1単位(30)	授業方法 (講義,演習,実験, 実習の別)	実習
課目名	着付		単年・継続の別	単年
授業到達目標 及びテーマ	浴衣、留袖の実技を学ぶと同時に、着付に関する知識の習得とマナーを身に付ける。			
年間授業計画	月		授業の内容・概要(授業の回数やスケジュール)	
	4		道具・小物の説明 浴衣の実技	
	5		留袖 (補正～長襦袢)	
	6		(着物)	
	7		(帯)	
	8		全体通し	
	9		留袖 実技テスト	
	10			
	11			
	12			
	1			
	2			
	3			
	テキスト	美容技術理論 2		
参考書等				
成績評価の方法・基準	授業態度・遅刻・欠席・実技テストとの総合で評価する。 遅刻・欠席は減産評価とする。 学期末・学年末には優・良・可及び不可で評価する。 また、夏休みには成績不振者対処の補習をする。			
実務経験等	・美容師養成施設指定規則別表第三の選択課目 に該当 ・免許状保有状況 美容師免許 管理美容師免許 着付け職種技能検定1級 着付け技能士 保有 ・実務経験 美容師実務経験 (10年)			

シラバス (美容師養成科)

対象者(学年)	必修課目・選択課目の別	単位数(時数)	担当教員名	杉本 奈緒実
美容科(1年) ヘアスタイリストコース	選択課目	2単位(60)	授業方法 (講義,演習,実験, 実習の別)	実習
課目名	美容技術 I (ネイル)	単年・継続の別 : 継続		
授業到達目標 及びテーマ	ネイル/ネイルの正しい知識と技術を持ち、安心・安全に施術できるようになる。 トータルビューティーへの意欲向上、ネイリスト技能検定3級合格 エステ/人の容姿を美しく整える為に皮膚に対して物理的・化学的な方法を施し、その生理機能を整えて健康で美しい皮膚を持続させる理論や技術を学習する。			
年間授業計画	月	ページ	授業の内容・概要(授業の回数やスケジュール)	
	4			
	5			
	6			
	7			
	8			
	9		ネイル理論	
	10	P16~19・P8~13・P85~	検定の流れの把握、理論(プリントNo,1~2)、道具作り、カットスタイル	
	11	P14,15・P69~81	理論(No.)、ケア/ ハンドマッサージ	
	12	P20,21・P30~36・P38~45	理論(プリントNo,4~5)カラー、アート	
	1		実習(検定の流れを覚える)	
	2		実習 タイムトライアル	
	3		実習 タイムトライアル	
テキスト	JNA TECHNICAL SYSTEM ~BASIC~/美容技術理論2			
参考書等				
成績評価の方法・基準	・授業態度 ・検定前の実技チェック			
実務経験等	・美容師養成施設指定規則別表第三の選択課目に該当 ・免許状保有状況 ・ネイリスト技能検定1級、ジェルネイル検定上級、ネイルサロン衛生管理士、フットネイル検定 ・実務経験 ・ネイリスト実務経験(15年)			

シラバス (美容師養成科)

対象者(学年)	必修課目・選択課目の別	単位数(時数)	担当教員名	守屋 繁美
美容科(1年) ヘアスタイリストコース	選択課目	2単位(60)	授業方法 (講義,演習,実験, 実習の別)	実習
課目名	美容技術Ⅱ(アップスタイル)	単年・継続の別 継続		
授業到達目標 及びテーマ	セミロングやロングヘアーのように長さのある毛髪を頭頂部などへ結び上げるセット方法で、基本から応用を習得する。 今までのアップスタイルより高度な作品を作り上げる。			
年間授業計画	月	ページ	授業の内容・概要(授業の回数やスケジュール)	
	4			
	5			
	6			
	7			
	8			
	9			
	10		細ゴムを使用して、1つに結ぶ練習。毛たぼの作り方。仕込みの方法	
	11		1つ目のスタイル 蝶とシニオン	
	12		1つ目のスタイル テスト(60分)	
	1		2つ目のスタイル 球、トルネード塔、シニオンのスタイル、創作	
	2		//	
	3		2つ目のスタイル テスト(70分)、成人式・パーティーヘア	
テキスト				
参考書等				
成績評価の方法・基準	2作品の評価を各素点80点満点で評価し、20点を授業態度および技術取得度で評価する。 学年末には優・良・可及び不可で評価する。 なお、遅刻・欠席は減算評価とする。 また、成績不振者対処の補習をする。			
実務経験等	<ul style="list-style-type: none"> ・美容師養成施設指定規則別表第三の選択課目に該当 ・美容師国家資格、管理美容師 保有 ・美容師実務経験 (9年) ・美容専門学校教員実務経験 (5年) 			

シラバス (美容師養成科)

対象者(学年)	必修課目・選択課目の別	単位数(時数)	担当教員名	佐伯 恵里子
美容科(1年) ヘアスタイリストコース	選択課目	1単位(30)	授業方法 (講義,演習,実験, 実習の別)	実習
課目名	美容技術Ⅱ(ブライダル)		単年・継続の別	継続
授業到達目標 及びテーマ	ブライダル業界に携わるうえで必要なマナー、知識、技術を学ぶ。 袴、振袖、和装花嫁、洋装花嫁の着付の実践			
年間授業計画	月		授業の内容・概要(授業の回数やスケジュール)	
	4			
	5			
	6			
	7			
	8			
	9			
	10		女性用袴の着付	
	11		振袖	
	12		振袖	
	1		振袖	
	2		洋装 花嫁	
	3		洋装 花嫁	
テキスト	美容技術理論 2			
参考書等				
成績評価の 方法・基準	授業態度・遅刻・欠席・実技テストとの総合で評価する。 遅刻・欠席は減算評価とする。 学期末・学年末には優・良・可及び不可で評価する。			
実務経験等	<ul style="list-style-type: none"> ・美容師養成施設指定規則別表第三の美容実習理論 選択課目 に該当 ・免許状保有状況 美容師免許 管理美容師免許 着付け職種技能検定1級 着付け技能士 保有 ・実務経験 美容師実務経験 (10年) 			

シラバス (美容師養成科)

対象者(学年)	必修科目・選択科目の別	単位数(時数)	担当教員名	姜 知蓮
美容科(1年) ブライリストコース	選択科目	11単位(330)	授業方法 (講義,演習,実験, 実習の別)	実習
科目名	まつ毛エクステンション		単年・継続の別	継続
授業到達目標 及びテーマ	まつ毛エクステンションにおける正確な知識と技能を習得するとともに、JLA認定資格を取得し、サロンに必要とされる即戦力になる人材を育成する。			
年間授業計画	月	ページ	授業の内容・概要(授業の回数やスケジュール)	
	4	p.4~p.51	まつ毛エクステンションの用具・衛生管理・保健	
	5	p.52~p.94	カウンセリング・まつ毛エクステンション技術	
	6		レベル2(ウィッグ)受験対策	
	7		レベル2(ウィッグ)受験対策・レベル2(ウィッグ)受験	
	8		レベル2(人頭)受験対策	
	9		レベル2(人頭)受験対策	
	10		レベル2(人頭)受験対策	
	11		レベル2(人頭)受験対策	
	12		レベル2(人頭)受験対策	
	1		レベル2(人頭)受験対策	
	2		レベル2(人頭)受験対策	
	3		レベル2(人頭)受験	
	テキスト	まつ毛エクステンション		
参考書等				
成績評価の方法・基準	JLA認定資格を基準に評価する。			
実務経験等	<ul style="list-style-type: none"> ・美容師養成施設指定規則別表第三の 選択科目に該当 ・免許状保有状況 美容師免許 美容学校教員免許 ・実務経験 13年 ・サロン経営7年 ・美容学校教員実務経験 7年 ・美容学校非常勤経験 11年 			

シラバス (美容師養成科)

対象者(学年)	必修課目・選択課目の別	単位数(時数)	担当教員名	守屋 繁美
美容科(2年1組)	選択課目	2単位(60)	授業方法 (講義,演習,実験, 実習の別)	実習
課目名	メイク		単年・継続の別	継続
授業到達目標 及びテーマ	メイクアップの基礎知識・技術を習得し、JMA日本メイクアップ技術検定2級資格取得を目指す。			
年間授業計画	月	ページ	授業の内容・概要(授業の回数やスケジュール)	
	4	P8~P10 P120~P131	・2級検定概要 ・ベースメイク(ブラシテクニック) ・アイブロウテクニック	
	5	P132~P148	・アイシャドウ ・アイライン ・ビューラー&マスカラ ・リップ テクニック	
	6	P65~P91	・ポイントメイクトータルレッスン・スキンケア復習	
	7	P149	・ポイントトータルレッスン・2級検定対策	
	8	P150	・2級検定対策	
	9	P149	・検定・メイクコンテスト練習・メイクコンテスト	
	10			
	11			
	12			
	1			
	2			
	3			
テキスト	日本メイクアップ技術検定試験 公式テキスト2級3級			
参考書等				
成績評価の方法・基準	後期期末考査を素点80点満点で評価し、20点を授業態度、技術取得度で評価する。学年末には優・良・可及び不可で評価する。 なお、遅刻・欠席は減算評価とする。			
実務経験等	<ul style="list-style-type: none"> ・美容師養成施設指定規則別表第三の 選択課目に該当 ・美容師国家資格、管理美容師 保有 ・美容師実務経験 (9年) ・美容専門学校教員実務経験 (5年) ・JMA認定講師 (5年) 			

シラバス (美容師養成科)

対象者(学年)	必修課目・選択課目の別	単位数(時数)	担当教員名	長崎 恵子
美容科(2年2組)	選択課目	2単位(60)	授業方法 (講義,演習,実験, 実習の別)	実習
課目名	メイク		単年・継続の別	継続
授業到達目標 及びテーマ	メイクアップの基礎知識・技術を習得し、JMA日本メイクアップ技術検定2級取得を目指す。			
年間授業計画	月	ページ	授業の内容・概要(授業の回数やスケジュール)	
	4	P8~10	2級検定について ・ アイブロウテクニック	
	5	P132~148	アイシャドウ ・ アイライン ・ ビューラー ・ マスカラ ・ リップテクニック	
	6			
	7			
	8		ポイントメイクトータルレッスン ・ スキンケア復習	
	9		2級検定対策 ・ 2級検定 ・ メイクコンテスト練習 ・ メイクコンテスト	
	10			
	11			
	12			
	1			
	2			
	3			
テキスト	日本メイクアップ技術検定試験 公式テキスト2級・3級			
参考書等				
成績評価の方法・基準	検定試験結果、コンテスト作品で評価をする。			
実務経験等	<ul style="list-style-type: none"> ・美容師養成施設指定規則別表第三の選択課目に該当 ・免許状保有状況 美容師免許 教員資格取得研修修了証書有 ・実務経験 美容室実務経験4年 美容専門学校実務経験 18年 			

シラバス (美容師養成科)

対象者(学年)	必修課目・選択課目の別	単位数(時数)	担当教員名	長崎 恵子
美容科(2年1組)	選択課目	2単位(60)	授業方法 (講義,演習,実験, 実習の別)	実習
課目名	サロン概論		単年・継続の別	継続
授業到達目標 及びテーマ	校外の社会人講師の講義等を通じ、美容の技術や美容業務についての知識を深める。			
年間授業計画	月	ページ	授業の内容・概要(授業の回数やスケジュール)	
	4		ガモウ関西フォトコンテスト表彰式 ・ 後援会就職説明会 ・ 後援会講師特別講話	
	5		岡山未来プロジェクト ・ 後援会講師特別講話	
	6		就職説明会	
	7		後援会講師特別講話	
	8			
	9		後援会講師特別講話	
	10		後援会講師特別講話 ・ 研修旅行	
	11		後援会講師特別講話	
	12		後援会講師特別講話	
	1		後援会講師特別講話	
	2			
	3			
	テキスト			
参考書等				
成績評価の 方法・基準				
実務経験等	<ul style="list-style-type: none"> ・美容師養成施設指定規則別表第三の選択課目に該当 ・免許状保有状況 美容師免許 教員資格取得研修修了証書有 ・実務経験 美容室実務経験4年 美容専門学校実務経験 18年 			

シラバス (美容師養成科)

対象者(学年)	必修課目・選択課目の別	単位数(時数)	担当教員名	佐伯 恵里子
美容科(2年2組)	選択課目	2単位(60)	授業方法 (講義,演習,実験, 実習の別)	実習
課目名	サロン概論		単年・継続の別	継続
授業到達目標 及びテーマ	校外の社会人講師の講義等を通じ、美容の技術や美容業務についての知識を深める。			
年間授業計画	月	ページ	授業の内容・概要(授業の回数やスケジュール)	
	4		ガモウ関西フォトコンテスト表彰式 ・ 後援会就職説明会 ・ 後援会講師特別講話	
	5		岡山未来プロジェクト ・ 後援会講師特別講話	
	6		就職説明会	
	7		後援会講師特別講話	
	8			
	9		後援会講師特別講話	
	10		後援会講師特別講話 ・ 研修旅行	
	11		後援会講師特別講話	
	12		後援会講師特別講話	
	1		後援会講師特別講話	
	2			
	3			
	テキスト			
参考書等				
成績評価の 方法・基準				
実務経験等	<ul style="list-style-type: none"> ・美容師養成施設指定規則別表第三の選択課目 に該当 ・免許状保有状況 美容師免許 管理美容師免許 着付け職種技能検定1級 着付け技能士 保有 ・実務経験 美容師実務経験 (10年) 			

シラバス (美容師養成科)

対象者(学年)	必修課目・選択課目の別	単位数(時数)	担当教員名	神崎 千恵子
美容科(2年)	選択課目	1単位(30)	授業方法 (講義,演習,実験, 実習の別)	講義
課目名	ビューティ・コーディネーター		単年・継続の別	継続
授業到達目標 及びテーマ	トータルビューティを総合的・体系的のカウンセリングし、お客様に合った提案を行える人材を育成する。 ビューティ・コーディネーター検定3級受験 全員合格を目指す。			
年間授業計画	月	ページ	授業の内容・概要(授業の回数やスケジュール)	
	4	P67～98	サロンのメディア活用・ビジネス用語・ビューティーコーディネーターの仕事とビューティーコーディネーター	
	5	P99～P134	生産性を高めるサロンオペレーション・「美意識」をコーディネート・ファッションを理解する・美容基礎知識	
	6	P135～153	トータルビューティメニュー 各单元ごと小テストを行う JHCA3級検定	
	7			
	8			
	9			
	10			
	11			
	12			
	1			
	2			
	3			
	テキスト	ビューティ・コーディネーター3級テキスト		
参考書等	過去問題			
成績評価の方法・基準	授業態度・遅刻・欠席・提出物・ビューティーコーディネーター3級検定可否との総合で評価する。 学年末には優・良・可及び不可で評価する。			
実務経験等	<ul style="list-style-type: none"> ・美容師養成施設指定規則別表第三の選択課目に該当 ・JBCA認定教員保有、准教員認定保有、美容師免許保有、「美容技術理論」「美容実習」研修修了証書保有 「美容文化論」研修修了証書保有 美容師実務経験(H6・4～H14・1 株式会社ザ・トップ勤務 H14・2～H16・3月 株式会社 エリカ勤務) H16・3～R6・5 専門学校倉敷ビューティーカレッジ勤務 			

シラバス (美容師養成科)

対象者(学年)	必修課目・選択課目の別	単位数(時数)	担当教員名	長崎 恵子
美容科(2年1組)	選択課目	2単位(60)	授業方法 (講義,演習,実験, 実習の別)	講義
課目名	総合実習		単年・継続の別	単年
授業到達目標 及びテーマ	美容師免許を取得する為に、日頃から積み重ねてきた知識や技術の総合的な学習をする。			
年間授業計画	月	ページ	授業の内容・概要(授業の回数やスケジュール)	
	4			
	5			
	6			
	7			
	8			
	9			
	10			
	11			
	12			
	1			
	2		過去問題 ・ 国家試験対策問題	
	3		過去問題 ・ 国家試験対策問題	
	テキスト			
参考書等				
成績評価の 方法・基準				
実務経験等	<ul style="list-style-type: none"> ・美容師養成施設指定規則別表第三の選択課目 に該当 ・免許状保有状況 美容師免許 教員資格取得研修修了証書有 ・実務経験 美容室実務経験4年 美容専門学校実務経験 18年 			

シラバス (美容師養成科)

対象者(学年)	必修課目・選択課目の別	単位数(時数)	担当教員名	佐伯 恵里子
美容科(2年2組)	選択課目	2単位(60)	授業方法 (講義,演習,実験, 実習の別)	講義
課目名	総合実習	単年・継続の別 ⋮ 単年		
授業到達目標 及びテーマ	美容師免許を取得する為に、日頃から積み重ねてきた知識や技術の総合的な学習をする。			
年間授業計画	月	ページ	授業の内容・概要(授業の回数やスケジュール)	
	4			
	5			
	6			
	7			
	8			
	9			
	10			
	11			
	12			
	1			
	2		過去問題 ・ 国家試験対策問題	
	3		過去問題 ・ 国家試験対策問題	
	テキスト			
参考書等				
成績評価の 方法・基準				
実務経験等	<ul style="list-style-type: none"> ・美容師養成施設指定規則別表第三の選択課目 に該当 ・免許状保有状況 美容師免許 管理美容師免許 着付け職種技能検定1級 着付け技能士 保有 ・実務経験 美容師実務経験 (10年) 			

シラバス (美容師養成科)

対象者(学年)	必修課目・選択課目の別	単位数(時数)	担当教員名	長崎 恵子
美容科(2年1組)	選択課目	2単位(60)	授業方法 (講義,演習,実験, 実習の別)	実習
課目名	制作実習	単年・継続の別 継続		
授業到達目標 及びテーマ	学んできたことの集大成として、ヘアー・ネイル・メイク・衣装などを班ごとに完成させ発表する。			
年間授業計画	月	ページ	授業の内容・概要(授業の回数やスケジュール)	
	4		役割決め・絵コンテ作成	
	5			
	6		絵コンテ・曲作成	
	7		リハーサル	
	8		リハーサル・制作発表会	
	9			
	10			
	11			
	12			
	1			
	2			
	3			
	テキスト			
参考書等				
成績評価の方法・基準				
実務経験等	<ul style="list-style-type: none"> ・美容師養成施設指定規則別表第三の選択課目 に該当 ・免許状保有状況 美容師免許 教員資格取得研修修了証書有 ・実務経験 美容室実務経験4年 美容専門学校実務経験 18年 			

シラバス (美容師養成科)

対象者(学年)	必修課目・選択課目の別	単位数(時数)	担当教員名	佐伯 恵里子
美容科(2年2組)	選択課目	2単位(60)	授業方法 (講義,演習,実験, 実習の別)	実習
課目名	制作実習		単年・継続の別	継続
授業到達目標 及びテーマ	学んできたことの集大成として、ヘアー・ネイル・メイク・衣装などを班ごとに完成させ発表する。			
年間授業計画	月	ページ	授業の内容・概要(授業の回数やスケジュール)	
	4		役割決め・絵コンテ作成	
	5			
	6		絵コンテ・曲作成	
	7		リハーサル	
	8		リハーサル・制作発表会	
	9			
	10			
	11			
	12			
	1			
	2			
	3			
	テキスト			
参考書等				
成績評価の方法・基準				
実務経験等	<ul style="list-style-type: none"> ・美容師養成施設指定規則別表第三の美容実習理論 選択課目 に該当 ・免許状保有状況 美容師免許 管理美容師免許 着付け職種技能検定1級 着付け技能士 保有 ・実務経験 美容師実務経験 (10年) 			

シラバス (美容師養成科)

対象者(学年)	必修課目・選択課目の別	単位数(時数)	担当教員名	長崎 恵子
美容科(2年) ヘアスタイリストコース	選択課目	2単位(60)	授業方法 (講義,演習,実験, 実習の別)	実習
課目名	編込み		単年・継続の別	継続
授業到達目標 及びテーマ	1年次に習得した編み方を活かしながらアップスタイルを学ぶ。上級を取得する。			
年間授業計画	月	ページ	授業の内容・概要(授業の回数やスケジュール)	
	4		夜会	
	5		夜会・アップスタイルコンテスト準備	
	6			
	7		アップスタイルコンテスト練習・アップスタイルコンテスト	
	8		フィッシュボーンを応用したアップスタイル	
	9		フィッシュボーンを応用したアップスタイル	
	10		上級練習	
	11		上級練習・上級検定	
	12			
	1			
	2			
	3			
テキスト				
参考書等				
成績評価の 方法・基準	前期試験、アップスタイルコンテストの作品などで採点する。			
実務経験等	<ul style="list-style-type: none"> ・美容師養成施設指定規則別表第三の 美容技術理論・美容実習 に該当 ・免許状保有状況 美容師免許 教員資格取得研修修了証書有 ・実務経験 美容室実務経験4年 美容専門学校実務経験 18年 			

シラバス (美容師養成科)

対象者(学年)	必修課目・選択課目の別	単位数(時数)	担当教員名	長崎 恵子
美容科(2年1組) ヘアスタイリストコース	選択課目	2単位(60)	授業方法 (講義,演習,実験, 実習の別)	実習
課目名	カラー基礎	単年・継続の別		単年
授業到達目標 及びテーマ	専門の講師により酸化染毛剤、酸化染料の実践及びJHCAカラーを学ぶ。			
年間授業計画	月	ページ	授業の内容・概要(授業の回数やスケジュール)	
	4			
	5			
	6		JHCA検定について・ワンメイクレッスン・カラー塗布	
	7		検定対策・検定	
	8			
	9			
	10			
	11			
	12			
	1			
	2			
	3			
テキスト	新ヘアカラー入門			
参考書等				
成績評価の 方法・基準	検定試験結果、授業態度で評価する。			
実務経験等	<ul style="list-style-type: none"> ・美容師養成施設指定規則別表第三の選択課目に該当 ・免許状保有状況 美容師免許 教員資格取得研修修了証書有 ・実務経験 美容室実務経験4年 美容専門学校実務経験 18年 			

シラバス (美容師養成科)

対象者(学年)	必修課目・選択課目の別	単位数(時数)	担当教員名	佐伯 恵里子
美容科(2年2組) ヘアスタイリストコース	選択課目	2単位(60)	授業方法 (講義,演習,実験, 実習の別)	実習
課目名	カラー基礎	単年・継続の別		単年
授業到達目標 及びテーマ	専門の講師により酸化染毛剤、酸化染料の実践及びJHCAカラーを学ぶ。			
年間授業計画	月	ページ	授業の内容・概要(授業の回数やスケジュール)	
	4			
	5			
	6		JHCA検定について・ワンメイクレッスン・カラー塗布	
	7		検定対策・検定	
	8			
	9			
	10			
	11			
	12			
	1			
	2			
	3			
テキスト	新ヘアカラー入門			
参考書等				
成績評価の 方法・基準	検定試験結果、授業態度で評価する。			
実務経験等	<ul style="list-style-type: none"> ・美容師養成施設指定規則別表第三の美容実習理論 選択課目に該当 ・免許状保有状況 美容師免許 管理美容師免許 着付け職種技能検定1級 着付け技能士 保有 ・実務経験 美容師実務経験 (10年) 			

シラバス (美容師養成科)

対象者(学年)	必修課目・選択課目の別	単位数(時数)	担当教員名	杉本 奈緒実
美容科(2年) ヘアスタイリストコース	選択課目	2単位(60)	授業方法 (講義,演習,実験, 実習の別)	実習
課目名	美容技術 I (ジェルネイル)	単年・継続の別		継続
授業到達目標 及びテーマ	ジェルネイルの正しい知識、技術を学び、ジェルネイル検定初級合格を目指す。 トータルビューティへの意欲向上			
年間授業計画	月	ページ	授業の内容・概要(授業の回数やスケジュール)	
	4		ネイルケアの見直し。ジェル検定の流れの説明。実習	
	5	P16～23	ジェルネイル概論。アートの練習。実習	
	6		実習。 タイムトライアル	
	7		フットネイル実習	
	8			
	9		実習。 タイムトライアル。 実技試験・筆記試験	
	10			
	11			
	12			
	1			
	2			
	3			
	テキスト	JNA TECHNICAL SYSTEM ～GEL NAIL～		
参考書等				
成績評価の方法・基準	・授業態度 ・検定の可否			
実務経験等	・美容師養成施設指定規則別表第三の選択課に該当 ・免許状保有状況 ・ネイリスト技能検定1級、ジェルネイル検定上級、ネイルサロン衛生管理士、フットネイル検定 ・実務経験 ・ネイリスト実務経験(15年)			

シラバス (美容師養成科)

対象者(学年)	必修課目・選択課目の別	単位数(時数)	担当教員名	頼正 加奈子
美容科(2年) ヘアスタイリストコース	選択課目	2単位(60)	授業方法 (講義,演習,実験, 実習の別)	実習
課目名	美容技術Ⅱ(アップスタイル)		単年・継続の別	継続
授業到達目標 及びテーマ	コンテストに対応したデザインアップのデザインを学ぶ。			
年間授業計画	月	ページ	授業の内容・概要(授業の回数やスケジュール)	
	4		デザインアップ①デモ 仕込み 部分練習	
	5		デザインアップ①デモ 仕込み 全頭練習 タイム50分	
	6		デザインアップ①デモ 仕込み 全頭練習 タイム50分 テスト	
	7		デザインアップ②デモ 仕込み 部分練習	
	8		デザインアップ②デモ 仕込み 全頭練習 タイム50分	
	9			
	10		デザインアップ②デモ 仕込み 全頭練習 タイム50分 テスト	
	11		デザインアップ③デモ 仕込み 練習	
	12			
	1			
	2			
	3			
テキスト				
参考書等				
成績評価の 方法・基準	各実習を100点満点で評価し、そこから授業態度、提出点により点数を引いたものを素点とし、平均を出し評価する。学年末には優・良・可及び不可で評価する。 また、夏休み・冬休みには成績不振者対象の補習をする。			
実務経験等	<ul style="list-style-type: none"> ・美容師養成施設指定規則別表第三選択課目に該当 ・免許状保有状況:美容師免許保有、管理美容師免許保有、JBCA認定教員保有、准教員認定保有 ・「美容技術理論」「美容実習」研修修了書保有、「衛生管理」研修修了書保有 ・美容師実務経験(H7・4～H9・1 STAR HAIR勤務 H9・2～H16・3 JOYCE勤務) ・H16・9～R6・5 専門学校倉敷ビューティーカレッジ勤務 			

シラバス (美容師養成科)

対象者(学年)	必修課目・選択課目の別	単位数(時数)	担当教員名	佐伯 恵里子
美容科(2年) ヘアスタイリストコース	選択課目	1単位(30)	授業方法 (講義,演習,実験, 実習の別)	実習
課目名	美容技術Ⅱ(ブライダル)		単年・継続の別	継続
授業到達目標 及びテーマ	ブライダル業界に携わるうえで必要なマナー、知識、技術を学ぶ。 袴、振袖、和装花嫁、洋装花嫁の着付の実践			
年間授業計画	月	授業の内容・概要(授業の回数やスケジュール)		
	4	和装 補正について		
	5	和装 男性袴着付		
	6	和装 女性花嫁着付		
	7	和装 女性花嫁着付		
	8	和装 女性花嫁着付		
	9	和装 女性花嫁着付		
	10	和装 女性花嫁着付		
	11	和装 女性花嫁着付		
	12			
	1			
	2			
	3			
	テキスト	美容技術理論 2		
参考書等				
成績評価の方法・基準	授業態度・遅刻・欠席・実技テストとの総合で評価する。 遅刻・欠席は減算評価とする。 学期末・学年末には優・良・可及び不可で評価する。			
実務経験等	<ul style="list-style-type: none"> ・美容師養成施設指定規則別表第三の美容実習理論 選択課目 に該当 ・免許状保有状況 美容師免許 管理美容師免許 着付け職種技能検定1級 着付け技能士 保有 ・実務経験 美容師実務経験 (10年) 			

シラバス (美容師養成科)

対象者(学年)	必修課目・選択課目の別	単位数(時数)	担当教員名	姜 知蓮
美容科(2年) ブライリストコース	選択課目	11 単位 (330)	授業方法 (講義, 演習, 実験, 実習の別)	実習
課目名	まつ毛エクステンション	単年・継続の別		
授業到達目標 及びテーマ	まつ毛エクステンションにおける正確な知識と技能を習得するとともに、JLA認定資格を取得し、サロンに必要とされる即戦力になる人材を育成する。			
年間授業計画	月	ページ	授業の内容・概要(授業の回数やスケジュール)	
	4		相モデルレッスン	
	5		相モデルレッスン	
	6		相モデルレッスン・60分(80本)試験	
	7		相モデルレッスン e-ラーニング受験	
	8		相モデルレッスン	
	9		相モデルレッスン	
	10		相モデルレッスン・60分(100本)試験	
	11			
	12			
	1			
	2			
	3			
テキスト				
参考書等				
成績評価の方法・基準	JLA認定資格を基準に評価する。			
実務経験等	<ul style="list-style-type: none"> ・美容師養成施設指定規則別表第三の 選択科目に該当 ・免許状保有状況 美容師免許 美容学校教員免許 ・実務経験 13年 ・サロン経営7年 ・美容学校教員実務経験 7年 ・美容学校非常勤経験 11年 			